

— 新年度を迎えて —

新型コロナウイルス感染症対策は、3月にはマスク着用が個人の判断に委ねられ5月からは感染症の法的位置づけが「5類」へ引き下げられるなど徐々に緩和され、ウィズコロナの定着が進展しています。沖縄県内では大型クルーズ船が3年ぶりに寄港するなど2023年度はイベントなどの再開が増え、経済活動の回復が期待できそうです。

一方でロシアによるウクライナ侵攻に伴いエネルギーをはじめとする原材料価格高騰や円安などによって物価上昇が続いています。政府は「電気・ガス価格激変緩和対策」として2023年1月の使用分から電気・ガス料金の軽減措置を講じ、当社は対象となるお客さまのガス料金の値引きを実施しています。

エネルギー安定供給の確保が世界的な課題となる中、国内では2023年2月に「GX実現に向けた基本方針」が閣議決定されました。エネルギーの安定供給を使命とする当社としては、政府のGX実現に向けた取り組みを当社のさらなる成長の好機と捉え、おきでんグループとして、「トップラインの拡大」、「攻めの効率化」、「カーボンニュートラルへの挑戦」の推進や2022年度の経営方針を踏まえて、以下のとおり2023年度の経営方針を策定しました。

経営方針に基づく個別の取組み目標を定めたアクションプランの達成に向け、一つひとつの項目に積極的にかつ丁寧に向き合い実行しましょう。

当社は昨年に続き「健康経営優良法人2023」の認定を取得しました。社員の心身の健康保持と増進に向けた取り組みを実施してまいります。

2023年度も安全にいきいきと働きながら主体的なチャレンジと創意工夫を発揮し、社員一人ひとりの成長とお客さまから信頼していただけるPECの発展を目指しましょう。

代表取締役社長 島袋 久哉

2023年度 経営方針 (骨子)

I. 全社的取組方針

- 働きやすい、働きがいのある職場づくり
 - デジタル化の推進による業務の効率化
 - 長時間労働の抑制
 - 健康経営の推進
 - 働きやすい職場環境づくり
 - コンプライアンスの徹底
 - 企業倫理の徹底
- 人材育成
 - 国家資格取得に向けた支援策の充実
 - 人材育成計画の着実な推進
 - デジタル化社会に対応できる人材の育成
- BCPの維持・向上
 - 幅広いリスクを視野に入れた事業継続計画(BCP)の見直し、訓練の実施
- 情報セキュリティの確保
 - 情報セキュリティ対策の強化
- 地域との交流
 - 地域への貢献活動

II. 部門別取組方針

- 【ガス供給事業】
- ガス事業収益の拡大に向けた営業活動
 - 営業力強化に向けた提案力向上、スキルアップ
 - 安定供給・保安レベルの維持強化
 - 吉の浦 - 牧港導管(仮称)維持管理業務受託に向けた取組
 - 吉の浦 - 牧港間LNG燃料輸送業務受託に向けた取組
 - 新規取引先におけるガス導管・LNGサテライト建設工事受注に向けた取組
 - 安全管理の徹底
 - ガス業務に精通した人材の育成
- 【可倒式風車事業】
- 既存7基の設備稼働率向上に向けた取組
 - 風車メーカーとの新たな覚書の締結
 - グループ外収益の拡大に向けた取組
- 【自家発電設備事業】
- 自家発電事業拡大に向けた取組
 - 既存契約先への安定的サービスの提供と修繕計画の提案
- 【太陽光発電事業】
- 太陽光発電事業の拡大及び既存設備の収支拡大を目指した運用改善

2022年10月1日から新たに創設された「産後パパ育休」制度活用

育児・介護休業法の改正により、2022年10月1日から「産後パパ育休」制度が新たに創設されました。男性の育児休業取得促進のため、取得ニーズが高い子の出生直後の時期(子の出生後8週間以内)に、これまでよりも柔軟で取得しやすい休業として設けられました。「産後パパ育休」制度は、産後8週間以内に4週間(28日)を限度として2回に分けて取得できる休業で、1歳までの育児休業とは別に取得できる制度です。

このたび、当社で初めて同制度を技術営業部ガス業務課の宮平全都さんが取得しましたので、本人の感想を紹介します。

Q:実際、取得してみようとしたか?

A:2週間の育児休業を取得させていただきありがとうございました。今回、第2子の出産にあたり、育児休業を取らせていただいたのですが、第2子が生まれ、妻、上の子、私も含めて生活リズムが大きく変わりました。家族の1日の生活リズムを整える大変よい機会でした。今回、当社では初めての「産後パパ育休」の取得だったのですが、会社が規程の見直しや情報収集、育休手続きなどを積極的に行ってくださって、スムーズに育休を取ることができました。

Q:育休中、辛いことはありませんでしたか?

A:一番辛かったことは睡眠不足です。深夜にも2~3時間おきにミルクを飲ませたり、寝かしつけたりと、上の子が新生児だった時は平日深夜の育児はほとんど妻に任せていたため、連日の睡眠不足の辛さ、大変さを身に染みて感じました。

Q:育休に入る際に、2週間職場を離れることに不安はありましたか?

A:上司を通して、会社へ「産後パパ育休」取得の相談をさせて頂いたときから、前向きに後押ししていただいていたので、不安はなく、安心して育休を取得することができました。



▲技術営業部ガス業務課 宮平 全都氏

■ 政府の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」によるガス料金の軽減措置(値引き)について

当社は、2022年10月28日の閣議決定「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」に基づく「電気・ガス価格激変緩和対策事業」に採択されたことを受け、政府の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の対象となるお客さまのガス料金の値引きを開始しました。(URL:<http://www.pec.ne.jp/entry.php?eid=163474>)

適用期間

2023年1月使用分~2023年9月使用分の料金に適用します。

政府の支援による軽減措置(値引き単価)

政府の支援による軽減措置の値引き単価(税込)は、下の表の通りです。

区分	政府支援による軽減措置(値引き単価)	
	2023年1月使用分~8月使用分	2023年9月使用分
LNG	36,466円/t	18,233円/t
天然ガス	30円/m ³	15円/m ³
都市ガス	30円/m ³	15円/m ³



電気・ガス価格激変緩和対策事業リーフレット (URL:<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>)

編 / 集 / 後 / 記 /

◎最近、吉の浦の周りに海鷗を見かけるようになりました。体が黒いためカラスにも見えますが、黄色い顔と水鳥独特のフォルムで見分けがつかず、昼休みに観察していたところ、どうも川鷗のようです。ちなみに愛媛では「鷗飼」という川漁が有名です。これに使う鷗は海鷗だそうです。

◎自然体験教室のチラシに掲載された名護岳(標高345m)の登山メニューを見て、長らくインドアの私は一念発起し自力で名護岳の登山に挑戦してみた。挑戦した結果は、約10分の1ぐらいの高さにある天上展望台で力尽き、頂上までは登り切れなかったが、青い海の眺望で凝り固まったのが取れ、今年はアウトドアへの愛心を誓った。

1 【協定締結】

ガス工作物工事の基本協定 調印式

この度、当社は南石開発株式会社さまとガス工作物工事の基本協定書を2023年2月24日に締結いたしました。当社の工事店さまとの基本協定は9社目の協定締結となります。

南石開発株式会社さまは、製油所関連施設の保全・建設工事を中心に30年以上の経験があり、従前よりガス配管工事の実績もあることから、今回当社との協定書締結に至りました。

本協定を通じ、ガス事業法やガス保安・品質に関わる勉強会・技能講習を適宜実施し、ガス工事の知識・技能レベルの維持・向上を図ります。

当社は工事店さまとのさらなる連携の強化を通じて、保安と品質向上の取り組みを推進します。



▲右から南石開発株式会社 代表取締役 古堅 寿香さま、当社 代表取締役社長 島袋 久哉

3 【国家資格】

高圧ガス製造保安責任者 甲種機械および1級管工事施工管理技士検定1名合格

高圧ガス製造保安責任者甲種機械および1級管工事施工管理技士検定に、当社から西浜宏治さんが合格しました。

〈合格者のコメント〉西浜 宏治さん

地道に学習を続けたことが実り、2022年度は2つの国家資格を取得することができました。国家資格は技術者の身分証明のようなものと考えております。資格取得により、私も当社も次のステージへの挑戦権を得ると共に、後輩の指導に今後とも邁進していく所存であります。宜しくお願いいたします。

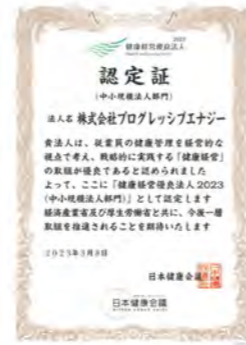


▲技術営業部ガス業務課 西浜 宏治氏

2 【健康経営】

「健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)」認定を取得

3月8日付で、当社は、日本健康会議より「健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)」に認定されました。2022年度に初認定され、今後も、社員全員の心身両面の健康が事業の要であるとの認識の下、健康経営の推進に取り組めます。



▲健康経営優良法人2023 認定証

4 【春闘】

2023 年度春闘

電力総連の統一要求日である2月16日にPEC労組より、要求書の提出がありました。現在、真摯な労使交渉により、早期の妥結を目指しています。



▲2023 年度春闘要求

5 【社会貢献】

献血への協力

沖縄県赤十字血液センターから献血の協力依頼があり、1月19日、吉の浦火力発電所構内に駐車した移動献血バスにおいて、当社から5名の役職員が献血に協力しました。



▲献血風景

トンガ王国向け可倒式風力発電設備導入プロジェクト完遂

2012年に可倒式風車の海外展開の可能性を探るべく、NIACの補助事業に応募してから約10年、多くの方々の支援を受けて進めてきました、当社初の海外事業であるトンガ王国向け可倒式風力発電設備の建設工事は、2023年3月の瑕疵期間検査をもって、無事にプロジェクトを完遂することができました。

これまでご支持ご支援くださいました皆さま、ありがとうございました。

年月	事項
2012年10月 ~2014年3月	NIAC補助事業「島嶼型環境システム海外展開推進事業」に応募・採択。2012年10月から2013年3月まで可倒式風力の海外展開可能性調査として、クック諸島、マーシャル諸島共和国、フィリピン共和国、トンガ王国の4カ国を調査。  トンガ政府 電力担当大臣訪問 (2013年1月)
2014年8月	JICA補助事業 第2回「開発途上国の社会・経済発展のための民間技術普及促進事業」に応募し採択。トンガ王国を訪問し、現地を確認するとともに現地要人の沖縄招聘を打診。 
2014年9月	トンガ王国要人が来沖。沖縄県庁、沖縄電力を訪問するとともに南大東島の可倒式風車を視察。 
2015年3月 ~5月	トンガ王国を訪問し、現地での情報を収集するとともに、2回目の沖縄招聘を打診。TPL(トンガ電力公社)のエンジニアが来沖し、波照間島可倒式風車のメンテナンス研修を実施。 
2017年5月	トンガ王国・日本両政府間で「風力発電システム整備計画」に対する21億円の無償資金贈与契約を締結。 
2017年11月	JICAより「トンガ王国向け風力発電整備計画」(無償資金協力)公示 
2018年1月	当社は西澤(株)とJVを締結し、JICA側コンサルおよびトンガ政府立会いの下、TPLと当社・西澤JV間で契約調印。 
2018年9月	起工式 
2019年6月	竣工 
2019年7月	竣工祝賀会 
2019年12月	初回6カ月点検およびTPLエンジニアへのメンテナンス指導。 
2020年3月~	コロナ禍の影響により、トンガ王国への入国が規制され、2020年7月に予定していた瑕疵期間終了後の検査が延期。 
2022年8月 ~2023年2月	トンガ国境再開を受けて瑕疵期間終了検査を実施。一部追加の補修作業を終えて、トンガプロジェクト完遂。 